

# 11. 自治医科大学医学部（私立） Jichi Medical University School of Medicine

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-1

<http://www.jichi.ac.jp>

電話0285-44-2111(代)

FAX0285-44-3625

e-mail : jichinyu@jichi.ac.jp

## 1. カリキュラム全般について

### A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

### B. 教授会は一般教育（教養）と専門教育とで常に合同で開催される。

### C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

### D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）ですべて示してあり、その印刷物を教育要項（他）という。

### E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて1年生に入学する。

### F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間行うが合宿ではない。

### G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2年生である。

その期間と内容：1年生：3日間：早期体験実習（患者付き添い実習）

2年生：4日間：地域保健福祉実習（保健福祉施設等で実習）

### H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

1年生は、平均して週3時間×年間9回である。

3年生は、平均して週10.5時間×年間8回である。

自習用に割り当てられている時間は

3年生は、平均して週4.5時間×年間4回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

### I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムをすべてにわたり採用している。

### J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、行われていない。なお、現行カリキュラムの特色は下記のとおりである。

①6年間の一貫カリキュラム、②低学年からの臨床との関連に重点を置いている、③総合医療に関連した教育を重視している、④2年間（必修：4年生～5年生、選択：6年生）の長期にわたり臨床実習を行っている、⑤総合教育科目（教養科目）を選択必修とし、セミナーを選択科目とし、学生の希望による選択を重視している

### K. 今後のカリキュラム改訂は平成21年を目途に予定している。そのねらいは下記のとおりである。

①「診断学実習（医療面接・身体所見等）」を充実させる、②現在3学年で行っている「臨床解剖」を5学年で実施する、③成績優良者を対象としたコースを設定する、④BSLの内容面での充実化を図り、統一的評価マニュアルを作成する

L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

教員の適正負担（少人数グループで実施する授業等：ケース学習、チュートリアル、共用試験OSCE、臨床実習、など）

## 2. 選択制について

専門教科について選択制を採用してはいない

## 3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。  
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒にではない。
- B. 他大学との単位互換について認めていない。
- D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生の数は34.0%であった。  
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業をしている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されてはいない。

## 4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムはない

## 5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。  
(10日間)  
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入している。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）  
4年の時、1週36時間で、32週間である。  
5年の時、1週36～37.5時間で、38週間である。  
6年の時、1週37.5時間で、4週間である。
- C. 臨床実習科目は全科目を必修としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。  
その期間は全部で27週で、そこで行う実習科目は（地域医療Ⅰ、地域医療Ⅱ、公衆衛生）である。  
この大学外の実習の場合の交通費は大学側が支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。  
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。  
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。
- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については  
保険制度に加入している。  
ワクチン接種を行っている。

## 6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は臨床実習のみを行う機会がある。  
期間は最長 臨床実習は8週である。

## 7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、5年終了時である。
- B. 成績の記録法は数段階制（優、良、可、不可、A、B、C、Dなど）を採用している。
- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。  
時期は7月から12月まで、期間は7週間（長期休暇期間を除く）である。
- D. 6年生の10月以降には、総括講義が組まれている。  
また、大学による国家試験対策のための特別な講義が組まれている。
- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、所属長、学生、自己である。  
自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。  
その評価結果は昇進などに関係しない。
- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

## 8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

### A. 教員数（平成19年12月現在）

		教 養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合 計
常勤 (有給専任)	教 授	2	9	68	10		89
	准教授	5	5	69	6		85
	講 師	3	8	94	14		119
	助 教		15	153	16		184
	その他			498			498
	合 計	10	37	882	46	0	975

非常勤 (客員・無給を含む)	教 授						0
	准教授						0
	講 師	7	5	132	18		162
	助 教						0
	その他						0
	合 計	7	5	132	18	0	162

- \* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。
- \*\* 基礎は社会医学を含む。
- \*\*\* 臨床は附属病院・分院を含む。

### B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

- ・一部の学内組織（研究部門）において、平成17年度より導入済。（新規採用者対象）
- ・任期の期間は、教授・准教授の職階にある者は5年、講師・助教の職階にある者は3年。
- ・任期満了時、再任が適当と判断される場合は、再任可。

### C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていない。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	109	16	0	3	0	0	0
2	108	27	0	5	0	0	0
3	101	16	0	3	0	0	0
4	102	21	0	3	0	0	0
5	99	20	0	0	0	0	0
6	106	34	0	2	0	0	0
合計	625	134	0	16	0	0	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,496名、合格者数106名、倍率23.5倍

入学者数106名、（定員100名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役27名、1浪57名、2浪12名、その他\*10名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない。

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数2,184名、合格者数106名、倍率20.6倍

入学者数106名、（定員100名、うち推薦入学者数0名）

入学者の状況：現役40名、1浪46名、2浪19名、その他\*1名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入していない。

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

B. 編入学者地域わくについて

地域わくは無い。

#### 14. 授業時間配分

##### (1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1			○	1362	1266	27
2			○	477	537	
3			○	516	198	45
4			○	133.5	2022	
5			○	78	562.5	
6			○	384	150	

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A	C	E		G1	
B					
	F1		G2		
	D		F2		D
			H		

(註) A : 総合教育（人文社会・自然・外国語系）

B : 医科学入門（医療人間論、分子医学入門など）

C : 基礎医学（解剖学、組織学、生化学、生理学など）

D : 総合医療（早期体験実習、地域医療1、地域医療2など）

E : 基礎臨床系統講義

F1: 社会医学Ⅰ（環境医学、疫学）

F2: 社会医学Ⅱ（公衆衛生学、法医学・医事法）

G1: 臨床医学Ⅰ（診断学実習、臨床実習、総括講義）

G2: 臨床医学Ⅱ（臨床検査医学、臨床薬理学など）

H : 総合科目（セミナー）

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
B) 医科学入門：必修6科目			
医科物理学	30	31.5	61.5
生体構成化学	37.5	40.5	78
医科生物学	37.5	31.5	69
医学医療情報学	30	22.5	52.5
分子医学入門	15		15
医療人間論	15		15
合計	165	126	291
C) 基礎医学：16科目			
解剖学		153	153
臨床解剖学		45	45
組織学		139.5	139.5
神経解剖学		40.5	40.5
発生・再生学	15		15
人類遺伝学	15		15
生化学	60	63	123
動物性機能生理学	37.5	31.5	69
植物性機能生理学	57	31.5	88.5
薬理学	24	63	87
免疫学	18		18
細菌学	25.5	31.5	57
ウイルス学	24	31.5	55.5
医動物学	24	31.5	55.5
病理学総論	34.5		34.5
病理学実習		90	90
合計	334.5	751.5	1,086
D) 総合医療：必修4科目			
総合医療。 [早期体験実習]		15	15
総合医療。 [医学医療入門]	15		15
総合医療。 [ケース学習]	27		27
総合医療 [福祉実習]		30	30
総合医療 [地域医療1]	22.5		22.5
総合医療、 [地域医療2]	21		21
合計	85.5	45	130.5
E) 基礎臨床系統講義：必修20科目			
循環	45		45
腎臓	22.5		22.5
消化	60		60
呼吸	37.5		37.5
神経	52.5		52.5
血液	37.5		37.5
内分泌代謝	37.5		37.5
アレルギー・リウマチ	22.5		22.5
皮膚	22.5		22.5
精神医学	39		39
成長発達	51		51
運動	25.5		25.5
生殖	45		45
泌尿器	22.5		22.5
耳鼻咽喉	25.5		25.5
眼	25.5		25.5
麻酔	15		15
感染	34.5		34.5
外科	15		15
テュートリアル	45		45
合計	681		681

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
F1) 社会学 I : 必修 2 科目			
環境医学	37.5	40.5	78
疫学	19.5	30	49.5
合 計	57	70.5	127.5
G1) 臨床医学 I : 診断学実習 ; 必修 1 科目、臨床講義 ; 必修 1 科目、 臨床実習 ; 必修 29 科目・選択必修 4 科目、総括講義 ; 必修 15 科目			
診断学実習		60	60
臨床講義	102		102
臨床実習			0
循環器内科		72	72
腎臓内科		72	72
消化器内科		72	72
呼吸器内科		72	72
神経内科		72	72
血液科		72	72
内分泌代謝科		72	72
アレルギー・膠原病学		72	72
皮膚科		36	36
放射線科		36	36
精神科		72	72
小児科		144	144
心臓血管外科		36	36
呼吸器外科		36	36
消化器外科		72	72
脳神経外科		72	72
一般外科		144	144
整形外科		72	72
産婦人科		144	144
泌尿器科		72	72
耳鼻咽喉科		72	72
眼科		36	36
麻酔科		36	36
集中治療		72	72
臨床検査		72	72
地域医療 I		72	72
救急		72	72
総合医学		72	72
病理診断			0
地域医療 II		75	75
上記臨床実習科目及び病理診断から 4 科目選択			
小 計	102	2,151	2,253

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
総括講義			0
内科学	126		126
(循環器内科学)			0
(腎臓内科学)			0
(消化器内科学)			0
(呼吸器内科学)			0
(神経内科学)			0
(血液学)			0
(内分泌代謝)			0
(アレルギー・膠原病学)			0
皮膚科学	12		12
放射線医学	18		18
精神医学	12		12
小児科学	24		24
外科学	45		45
(胸部外科学)			0
(消化器外科学)			0
(一般外科学)			0
脳神経外科学	15		15
整形外科学	12		12
産婦人科学	24		24
泌尿器科学	12		12
耳鼻咽喉科学	12		12
眼科学	12		12
麻酔科学	12		12
総合医療	12		12
社会医学	15		15
小計	363		363
合計	465	2,151	2,616
G2) 臨床医学Ⅱ：必修5科目			
臨床検査医学	22.5		22.5
歯科口腔外科学	15		15
臨床病理カンファランス	30		30
臨床薬理学	24	6	30
救急医学	15		15
合計	106.5	6	112.5
F2) 社会医学Ⅱ：必修2科目			
公衆衛生学	33	37.5	70.5
法医学・医事法	30	3	33
合計	63	40.5	103.5
専門課程合計 (B+C+D+E+F1+G1+G2+F2)	1957.5	3190.5	5,148

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年	1389	1266	2655
2 学年	477	537	1014
3 学年	561	198	759
4 学年	133.5	2022	2155.5
5 学年	78	562.5	640.5
6 学年	384	150	534
合計	3022.5	4735.5	7758



**16. その他の教育内容**

独立した科目として授業が行われている科目：

人類遺伝学(臨床遺伝学)(必修)、医学外国語(選択)、医療安全(必修)、医の倫理(選択必修)、緩和ケア(必修)、医療情報学(必修)、プライマリ・ケア(必修)、家庭医学(必修)、臨床医学(必修)

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、医用(電子)工学、行動科学、医療福祉学(医療社会福祉学)、医療経済、高齢医学、在宅ケア・介護、人間関係学、医療保険

**18. MD-PhDコースを設置していない。**